

アイヌ文化はじめて体験

趣旨 アイヌ文化への気運の高まりを踏まえ、直接体験を通して、子ども達がアイヌ文化に対する興味関心を高める機会とする。

企画運営のポイント 目で見て、手で触れて、言葉で表現しながらアイヌ文化に親しむことができる体験を参加者に提供することとし、興味関心の高まりが次の学びへとつながるような家庭での事後アンケートの実施に努めた。

期 日：①令和3年6月26日（土）10：00～15：30

②令和3年6月27日（日）10：00～15：30

会 場：二風谷コタン（二風谷アイヌ文化博物館ほか）

対 象：小学校4～6年生

参加者：①9名、②12名

講 師：関根 健司 氏（平取町教育委員会生涯学習課）



日程 10：00～アイヌ文化体験①（アイヌ語での自己紹介）

11：15～二風谷アイヌ文化博物館見学

12：00～昼食

12：45～アイヌ文化体験②（弓矢・輪投げ遊び）

13：30～アイヌ文化体験③（アイヌの歌・踊り）



二風谷アイヌ文化博物館見学



弓矢遊び



アイヌの歌・踊り体験

【成果】

- ・参加者からは「アイヌ語を学んだことでとても興味が沸いたので、夏休みの自由研究に活かしたい」との声があり、事業での体験を次の学びへと生かす姿勢が見られた。
- ・道外から引越してきた参加者の保護者からは「アイヌ文化に触れたことがない息子だったが、体験から帰ってきてからアイヌ一色に変わった」との声があり、地域の特色を生かした事業は効果的だった。
- ・晴天に恵まれ、屋外での体験活動（特に弓矢遊び）で子ども達は楽しみながら、意欲的にアイヌ文化に親しんでいた。

【課題】

- ・送迎バス移動時の車内が退屈だったとの意見があったため、コロナ禍でも楽しめるような参加者交流を考える必要がある。